

特定健診、胃・肺・大腸・前立腺がん検診のお知らせ

特定健診・がん検診を実施しますので、今年まだ受診されていない方は、年1回、からだのメンテナンスとして、ぜひ、受診するようにしましょう。

☆☆☆健(検)診受診特典☆☆☆

健(検)診を受診された方で負担金有料者には、ひだかカード会が発行する「ひだかカード」のポイントを付与します。

特定健診(国保加入者のみ): 300ポイント

後期高齢者健康診査・がん検診・その他検診: 100ポイント

日 程

【日高地区】 11月16日(金) 日高こもれびホール

※使用できない場合は日高老人福祉センターに変更します。

(受付時間) 午前6:30～9:30

【門別地区】 11月17日(土) 門別公民館

11月18日(日)、19日(月) 富川公会堂

11月20日(火) 厚賀会館(乳がん検診・歯科健診同時実施)

(受付時間) 午前6:30～9:30 ※待ち時間短縮のため時間を区切って受付します。

健(検)診名	負担金	対象者
特定健診 (40～74歳) (75歳以上)	1,300円 560円	①平成31年3月31日までに40～74歳になる国民健康保険加入者 ②75歳以上の方 ③生活保護世帯の方 *社会保険加入の被扶養者で今回の健診を希望する方は、全国健康保険協会から発行される受診券が必要ですので、扶養者の職場へお問い合わせください。 *農協組合員で厚生連のドックを受けた方や医療機関で個別健診を受けた方など、すでに特定健診を受けた方は、対象から除きます。
胃がん検診 肺がん検診 (X線) (喀痰) 大腸がん検診	1,600円 500円 900円 800円	40歳以上の方 *農協組合員で厚生連のドックを受けた方や医療機関で個別健診を受けるなど、すでに今回と同じ検査を受けている場合は、この検診の対象から除きます。
前立腺がん検診	2,000円	50歳以上の男性
乳がん検診 【11月20日 厚賀会館のみ】	(40～49歳) 2,000円 (50歳以上) 1,700円	乳房のエックス線撮影をします。40～49歳は2方向、50歳以上は1方向のエックス線撮影をします。 ※平成31年3月31日を年齢基準日とします。
肝炎ウイルス検診 (B型+C型) (C型のみ) (B型のみ)	700円 600円 100円	①昭和53年4月1日～昭和54年3月31日生まれの方 ②昭和19年～昭和53年3月31日生まれで、過去に肝炎ウイルス検査を受けていない方
骨粗しょう症検診 (対象者) (対象外)	600円 2,060円	昭和23年4月1日～昭和24年3月31日生まれの女性 昭和28年4月1日～昭和29年3月31日生まれの女性 昭和33年4月1日～昭和34年3月31日生まれの女性 昭和38年4月1日～昭和39年3月31日生まれの女性 昭和43年4月1日～昭和44年3月31日生まれの女性 昭和48年4月1日～昭和49年3月31日生まれの女性 昭和53年4月1日～昭和54年3月31日生まれの女性 *上記以外の方は対象外となりますが、受診は可能です。 ただし、対象外の場合は、生活保護・非課税世帯であっても負担金を徴収します。

健(検)診名	負担金	対象者
エキノкокクス症検診	300円	小学3年生以上で、前回の検診から5年以上経過している方
成人歯科健診 (日高・厚賀地区のみ)	無料	今回の健診の項目の一つとなっておりますので、ぜひ皆さん受診してください。
ヘリコバクター・ピロリ菌検査	2,410円	40歳以上の方 * 除菌治療したことのある方は、対象から除きます。ピロリ菌検査はあくまでも胃がんのハイリスクを調べるための検査です。胃がん検診とセットの検査をお勧めします。

*ただし、骨粗しょう症検診の対象外の方を除き、生活保護世帯の方、住民税非課税世帯の方、昭和53年4月1日～昭和54年3月31日生まれの方は無料です。
生活保護・非課税世帯の方は、課税状況を調査するため同意書の提出が必要です。印鑑を持参のうえ、健康増進課、厚賀出張所、水・くらしサービスセンター、日高総合支所地域住民課へお越しください。

負担金の徴収

特定健診とがん検診の負担金徴収の取り扱いについて、判断基準が異なりますので、非課税世帯の方は、必ず同意書を提出してください。ご不明な点等があればお気軽にお問い合わせください。

申し込み・お問い合わせ先

【日高地区】日高町役場 日高総合支所 地域住民課 電話 01457-6-3173

【門別地区】日高町役場 健康増進課 電話 01456-2-6571

日高地区・門別地区ともに申し込み締め切りは、**10月24日(水)**です。

知っていますか？結核のこと

結核は、結核菌が体内に入り、増えることによって起こる感染症です。日本では、結核菌が肺の中で増える「肺結核」が約8割を占めています。重症化すると、命を落とす危険もある病気です。

かつては、死亡原因の第1位として恐れられていた結核ですが、現在は医療の進歩や生活環境の向上により、適切な治療で治る時代となりました。しかし、現在の日本でも、1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落とす、重大な感染症となっているのです。

受診のサインは？

- ・ 2週間以上続くせき・たん・微熱
- ・ からだのだるさが続く
- ・ 急に体重が減る
- ・ お年寄りなど抵抗力の弱い人が急に弱ってきた

これらは結核の代表的な症状です。症状に気づいたら、早めに受診しましょう。結核と診断されると、6か月間、毎日3～4種類の薬を服用します。症状が強い場合や、周囲へ感染の危険がある場合は、入院して治療することもあります。



予防には？

患者のせきなどに含まれる結核菌を吸い込んでも、多くの場合は体の免疫力により菌は追い出されます。菌に感染しても、ほとんどは免疫力により封じ込められ、菌は活動しないままです。しかし、免疫力が低下していると、結核菌が増え、結核が発症してしまいます。

免疫力が低下しないよう、栄養バランスの良い食事・十分な睡眠・適度な運動など、規則正しい生活を心がけましょう。また、**肺の機能を低下させないためには禁煙**することも大切です。

気づかぬうちに結核菌に感染し、発症していた場合、周りの人に感染させてしまう可能性があります。**せきやくしゃみが続くときは、マスクを着用し、早めに病院を受診し、周りに感染させないように**しましょう。

抵抗力の弱い乳幼児の結核予防のために、日高町では、**生後5か月を過ぎたお子さんにBCG接種の案内**をしています。1歳までに接種するようにしましょう。

お問い合わせ先

- ・ 日高町役場 日高総合支所 地域住民課 電話 01457-6-3173
- ・ 日高町役場 健康増進課 電話 01456-2-6571